



봉사しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度 国際ロータリー第2730地区 宮崎県中部グループ

宮崎アカデミーロータリークラブ 会報

第 85 回例会 2022年 4月 12日

●例会場 zoom オンライン

会長 水居 徹 副会長 原田隆治 幹事 辻清



■会長の時間 水居 徹会長

みなさん、こんにちは。

第7波ではないかというくらい感染者数が増えています。みなさん、お変わりありませんか？

ビジターのご紹介をしたいと思います。（宮崎北クラブ福井健太郎くん）

さて、ニシタチ子ども食堂は4月4日月曜日に開催されました。8名のお子さんと6名の親御さんが見えて、竹井会員の食育的なイベントもあり楽しく過ごせたようです。子どもたちの笑顔が報酬とでもいえるのではないのでしょうか？

今回は老舗のパンやさんがいらっしゃいました。フードロスが多いのが会社としても気になっており、子ども食堂との取り組みを考えたいとのことで見学に来られました。職業奉仕的なシーンでした。

ところで、MyRotaryですが、ついに登録率は74.5%となりました。地区で5位、県内で3位です。辻幹事の執念ともいえる頑張りでここまで来ました。100%はぜひ達成したいと思います。

このMyRotaryにログインしますと、ブランドリソースセンターというコーナーがあります。ここにはロータリーのロゴやパンフレットの素材などがあり、ダウンロードできるようになっています。

ロゴについては、厳密に色の指定、サイズの指定、クラブ名称との組み合わせ方法などが定められています。

会員の方がこれに関わるとなると、名刺の作成があります。名刺にロゴを使う場合はご注意ください。

みなさんはロータリーの名刺をお持ちでないかもしれませんが、ロータリーの活動の際は名刺を作られるとよろしいのではないのでしょうか？

ロータリーの名刺を作るのにルールがあるわけではありませんが、私も先輩たちからもらった名刺を基に作成しています。そういう意味では禁則があるわけでもありません。ただ、好ましくないなあというのは、これまでのロータリーの生活で導いたものです

1. 仕事の名刺（本来持っているもの）とロータリーの名刺をはっきりと区分する
2. 仕事の名刺にはロータリーという単語は使わない
3. ロータリーの名刺は極力、みなと同じフォーマットで作る
4. ロータリーの名刺には事務局の住所と電話番号、併記で自分の会社等の住所と電話番号を入れる

自分の仕事で営業などを行なう時にロータリアンであることを言わない、パンフ等も同じです。相手がロータリアンである場合は除きます。

各種社会活動においても、ロータリーの活動でない場合は、ロータリーは出さない方がよいと思われれます。

ニシタチ子ども食堂もロータリーの事業でなく、竹井会員の事業ですので、あくまでも当クラブは支援という立場ですので、私は参加しても、ロータリーということではなく、友人として参加しているつもりです。

大学の先生が、講義でロータリーの話をするのはおかしくなります。キャリアデザイン講座はロータリーの職業奉仕を具現化したロータリーらしい講座と私は考えていますが、会員が自分の職業や経歴を学生に話すことは学生にとってとても貴重な機会だと思います。この講座にロータリークラブが協力しているということのみ、学生に伝えることで、ロータリークラブって何だろうと、何名かが検索でもしてくれればよいと考えます。



こういう考え方をロータリーの「隠匿は美」と言って、国内では重要視されてきたことです。しかし、昨今は会員減少もあり、積極的にPRしようというのが、公共イメージという組織を作った理由です。

個人的には、「隠匿は美」という言葉は大好きです。こっそり良いことをやりましょう。どんどんやりましょう、隠れながら。

今日を入れてあと6回の例会です。MyRotary100%、危機管理委員会と戦略計画委員会の設置、会員増強については達成をしたいと考えていますので、引き続きご協力をお願いいたします。特に会員増強は、お付き合いのある方で、この人はという方がいたらぜひ勧誘ください。

■幹事報告 幹事の辻です。

第85回例会 幹事報告

どの会合に参りましても、新型コロナウイルスとウクライナ戦争のお話です。

どちらも、歯止めが効かないのか？何もできないのか？悶々としています。

本日の感染者数は

新型コロナウイルスに対し、懸命に戦っていらっしゃる医療関係者の皆様、本当に感謝いたします。



①国際ロータリー為替レートについて

2022年4月のロータリーレートは、1ドル=122円です。

寄付は、日本事務局に着金した月のRIレートが適用されます。

月末にお振込みされる方がいらっしゃれば、ご注意ください。

②ウクライナ支援について（理事会協議済み）

深刻化するウクライナでの人道的危機への対応として、当クラブからもウクライナでの救援活動を支援するために災害救援支援金を募り、協力することといたしました。

先ずは、クラブより一会員当たり1,000円@会員数39名=39,000円

クラブより1,000円加えて合計40,000円を先行支出します。

会員の皆様には、会費請求時にご請求させて頂く方法を取らせていただきたいと思ひます。

寄付金の送付先は、ロータリー財団「災害救援基金」です。

皆様におかれましては、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

③危機管理委員会設置について（理事会協議済み）

先の理事会にて今期の目標の一つである「危機管理委員会設置（案）」について協議しました。次回の理事会にて「戦略計画委員会設置（案）」も協議し、今期に臨時総会を開催し、お図りさせて頂く予定です。臨時総会の案内につきましては、次回の理事会で協議し、お知らせします。

④クラブ協議会（現・次期）について

年間プログラムに計画しておりますクラブ協議会を今期・次期の役員・理事（各委員長）及び役員補佐にお集まりいただき開催します。

次回の理事会兼スタッフ会議が2022.5.10（火）13：00～（例会後）で予定しておりますので、同時刻に行いたいと思ひます。場所は未定です。現・次期の役員・理事におかれましては、出席をお願い致します。

⑤ガバナー補佐訪問について

2022.5.24（火）第88回例会に田島ガバナー補佐をお招きすることとなりました。

準備等につきましては、クラブ管理委員会に協力を頂きます。よろしくお願ひいたします。

⑥My Rotaryアカウント登録者数について

4月11日現在 My Rotaryアカウント登録者数 31名/39名中 79.49%

アカウント登録100%まで、残り8名となりました！！

登録完了が出来ていない会員の方には個別にメールなどご連絡をお届けします。

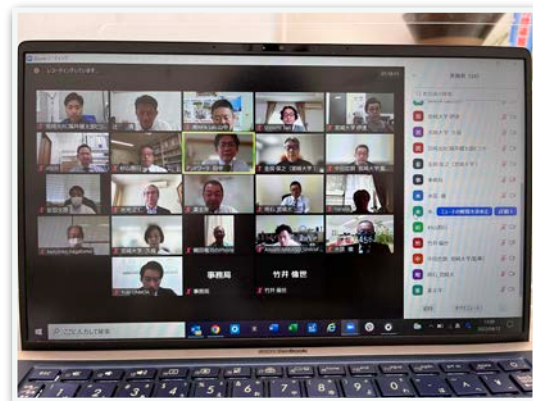
中には一般登録となっている方もいらっしゃるかもしれません。私からメールが届いた方は、状況をご連絡ください。

■出席報告

クラブ管理委員会 梶田副委員長

本日状況

会員数 39名 出席23名 欠席16名 出席率58.97%



第84回例会修正出席

会員数 39名 出席13名 web出席10名 欠席16名 出席率58.97%

■卓話

葉王寺 文宏 会長エレクト

3月26日(土)に鹿児島で会長エレクト研修セミナーが開催され出席しましたので、その時の話をさせていただきます。



まずは山ノ内文治ガバナーエレクトがガバナーエレクト研修セミナーでのことを話されました。

2022-2023年度の国際ロータリーの会長は初の女性会長となるジェニファー・ジョーンズさんです。カナダ オンタリオ州ウィンザー・ローズランドRC所属です。

ジェニファー・ジョーンズさんは2022-2023年度の国際ロータリー年間テーマを『IMAGINE ROTARY』と発表されました。

“想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。”という意味です。

彼女は会員の積極的な参加を促すために、ロータリーには「適応と改革」が必要だと述べ、またさらにロータリーでの私たちの中心的な役割は、各会員の参加を促すための適切な“部品”を見つけること、詰まるところ、大切なのは会員にとっての快適さと会員への配慮です。積極的な参加こそが会員の維持にとって重要であり、会員がロータリーに何を期待するのかを尋ねた上で、果たしがいのある責任を会員に与えることが必要だと述べました。

ロータリーでの参加型の奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが目的意識と熱意を生み出します。想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。

また2023年までにロータリー会員基盤の30%以上を女性にするというRI理事会の目標達成のタイムリミットが迫ってきていることにも触れ、110か国以上ですでにこの目標が達成されてはいるものの、世界全体での達成には程遠いとジョーンズ氏は言います。またローターアクトではすでに会員全体の50%以上が女性であることも指摘しました。

ロータリーはつながりを生かして協力関係を深め、新たなパートナーシップを作り出していく必要があります。ロータリーでは、それをあらゆるレベルで行うことができます。私たちには皆、夢があります。しかし、その実現のために行動するかどうかを決めるのは私たちです。ロータリーのような団体がポリオの根絶や平和の実現といった大きな夢を抱くなら、「それを実現させる責任は自分たちにある」として、次のように締めくくります。

『昨日のことをイマジン(想像)する人はいません。“IMAGINE ROTARY”それは未来を描くことです。』

この研修を踏まえて、山ノ内文治ガバナーエレクトは国際ロータリー2730地区の2022-2023年度地区基本方針と活動計画を発表されました。

地区基本方針は

『知力を高め 未来に繋げ 多様性のあるロータリークラブの実現に』と定められました。

またRI会長エレクトの方針である多様性を認める社会の実現に向けて未来のロータリアンに夢を繋ぐという思いを込めて地区テーマにしたということです。

続いて地区活動計画ですが、12個の項目を挙げられました。

① RI会長テーマ『イマジンロータリー』の推進

「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を」

会員の積極的な参加を促すためにロータリーには「適用と改革」が必要とジョーンズ氏は述べています。会員が積極的に参加しやりがいのある責任を会員に与えることが必要です。

② DEI委員会の設置

D=ダイバーシティ(多様性)

E=エクイティ(公平、男女平等、男女共同参画)

I=インクルージョン(包摂、誰も排除されず全員が社会参加する機会をもつこと)

ロータリーは様々な人が参加できる開放的な組織。すべての人に公平で善意を築き、社会に役立つ組織作りに努める。また地区内にDEIの委員会を設置し、DEIに詳しい専門家を招き勉強会を行う。

③ 会員基盤の強化とクラブの拡大

ロータリーの原点である「親睦」「職業互恵」で仲間を支援しクラブを強化する。また新クラブ(パスポートクラブ・衛星クラブ・その他の新クラブ)を設立する、女性会員の入会促進、比率アップなどにも取り組む。

④ ロータリー財団への寄付推進

補助金を活用して大きなインパクトをもたらす奉仕プロジェクトを実施するため、寄付・募金活動を推進する。

年次基金への寄付 150 \$ 米貨/1人

⑤ ポリオ根絶への寄付推進

世界に約束したポリオ根絶を達成するために寄付・募金活動を推進する。

ポリオ根絶への寄付 30\$米貨/1人

⑥ 米山記念奨学会への寄付の推進

日本を世界の懸け橋となりロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する若い人を育てる。米山記念奨学会へ寄付を推進する。

普通寄付 5,000円/1人

特別寄付 10,000円/1人

小学生の本来の目的が達成できるように支援する。

⑦ 青少年育成の推進

- ・次世代を担う有能な指導者を育成する。
- ・インターアクトクラブ、ローターアクトクラブの会員基盤の強化・拡大を支援し、ロータリーとの関係を強化する。
- ・ロータリー青少年指導者プログラム(RYLA)を実施する。
- ・地区の委員会への配属を促し、若い人の意見を反映させる。

⑧ 公共イメージ向上の推進

会員基盤の強化と向上に資するためにTV局、SNS、地元紙、ホームページ等で活動情報を発信する。特に本年度はロータリーと活動のテーマをTVで発信しイメージアップをはかる。

⑨ 地区設立70周年記念大会

11月11日～13日に行われる地区大会が、地区設立70周年を記念する行事として行われるので、多くの会員に参加を促す。

⑩ クラブ奉仕部門の活動の推進

- ・地区クラブ奉仕部門とクラブの連携を強化する。
- ・クラブの抱えている問題の解決に向けて地区チームを支援する。
- ・ウィズコロナ、アフターコロナに備えて例会及び行事について開催のルールを明確にする。

⑪ ロータリー奉仕デーおよびIMの実施

- ・ロータリーの活動を世界に紹介するため、すべてのロータリアン・ローターアクター・インターアクターが一般の人々の参加を促し、ロータリー奉仕デーを開催する。
- ・IMはテーマに沿った単独もしくはグループで実施する。

⑫ メルボルン国際大会への参加推進

2023年5月27日～31日、メルボルン(オーストラリア)で開催されるロータリー国際大会に多くの会員が参加するように推進する。

今回の会長エレクト研修セミナーを受講して、会長としてクラブを預かる責任の大きさを感じました。再来週には地区研修協議会、また来月には新旧のクラブ協議会とクラブの方針を定め発信する機会が控えています。ここで研修したことをしっかりと自分のなかで理解し、会員の皆さまに引き継いでいきたいと思っています。